令和6年度大野市小山小学校スクールプラン

児童の実態
・やさしく素直
・新しいことにチャレンジする気持ちが弱い

教育目標
心豊かにたくましく生きぬく子の育成

保護者・地域の願い
・思いやりの心を持つ
・学力、体力をしっかりつける
・ふるさとを大切にする

校訓　愛汗喜働

SDGsの推進

めざす児童像

- 思いやり、感謝の心を持つ　いふりっこ
- めあてを持って学ぶ　いふりっこ
- 心と体をきたえる　いふりっこ
- ふるさとを大切にする　いふりっこ

重点目標

◎自己肯定感を高め、自信を持って行動できる子を育てる。
○人権意識を高め、一人一人の個性やよさを認め、互いを思いやり感謝する心を育てる。
○礼儀礼節を大切にする子を育てる。

◎自ら問いを立て、主体的に追究していく児童を育てる。
○自信を持って思いや考えを発信することのできる表現力の育成に努める。
○夢や目標に向かってがんばる心を育てる。

◎自分の健康は自分で守る意識を高め、心身ともに健やかでたくましい子を育てる。
○愛汗喜働の精神を発揮し、最後まで、自分らしく粘り強く取り組む心を育てる。

◎家庭・地域に開かれた学校を推進し、「地域コミュニティ」の一端を担う子を育てる。
○ふるさとのよさを知り、ふるさとを愛する心を育てる。
○校区の連携を充実させ、魅力ある学校づくりに努める。

研究テーマ　つながり合って学びを深めるいふりっこの育成
～つながりのある授業デザインと振り返りの工夫～

具体的方策

・意図的に共有体験を創出し、結果ばかりでなく児童の努力の過程を認めたり褒めたりする。
（学校が楽しい 90%以上）
・道徳教育、人権教育、縦割り班活動や学級活動を充実させ、互いを思いやり認め合う気持ちや態度を育てる。
（思いやりのある行動ができた 90%以上）
・「全児童を全職員で」を合言葉に、児童一人一人が安心して学校生活を送れるように絆づくりに努める。
（相手を意識した気持ちのよい返事やあいさつ、言葉遣いができた 90%以上）

・興味関心を持てるような課題を提示し、学習を進める中で、新たな課題を見出していけるような授業づくりをする。
（意欲を持って学習に取り組む 90%以上）
・自分の思いや考えを交流する場を通して表現力を養う。
（自分の思いや考えを話したり書いたりすることができた 90%以上）
・自分事になるようなめあてを設定させ、主体的に取り組む姿勢を育てる。
（児童は夢や目標を持ちそれに向かって頑張っている 90%以上）

・「わたしの健康」等を活用し、自分の健康や成長を意識した生活ができるようにする。
（早寝、早起き、朝ご飯の習慣が身についている 90%）
・不安や悩みを教職員や SC 等に相談できる環境を整える。
（不安や悩みを誰かに相談できた 90%以上）
・体育・いふりっこタイム等に体を動かして運動の楽しさを味わい、記録に挑戦できる場の設定を工夫する。
（体を動かすことを楽しんだ 90%以上）
・清掃や農園活動に一所懸命に取り組み、愛汗喜働の精神を育む。
（掃除、農園活動で一所懸命活動できた100%）

・地域の素材を活用して体験的な活動に取り組む。
（小山が好き 100%）
・学校便りや学校公開日を通して、適時・適切な情報発信をする。（月１回以上）
・校区の交流を通して、自校の良さを再発見する。
（毎学期１回以上の交流）

〈業務改善の取り組み〉　・学校行事、会議のあり方の見直しと精選　・ICT 機器を活用した会議や情報伝達の効率化
・在校時間の短縮化（毎日 18 時退庁、月１回定時退庁を目指す。放課後時間の有効活用）・SDGsを意識した教育活動の推進